

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書		令和7年5月25日
神戸市長様		
提出者 〒651-2124		
住所 神戸市西区伊川谷町潤和824-1		
氏名 雪印メグミルク株式会社神戸工場		
工場長 関野 信昭		
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)		
電話番号 078-912-2121		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。		
事業場の名称	69J0501016 雪印メグミルク株式会社神戸工場	
事業場の所在地	神戸市西区伊川谷町潤和824-1	
計画期間	2025年4月1日から2026年3月31日まで	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
①事業の種類	(0913)処理牛乳・乳飲料製造業、(1011)清涼飲料製造業	
②事業の規模	製造品出荷額等 73.5億円/年	
③従業員数	104名	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり	

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙2のとおり。			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度(2024 年度)実績】 別紙3-1のとおり。		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙3-1のとおり。		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	別紙3-2のとおり。		
②計画	(今後実施する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	不燃物の分別強化。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 2024年度）実績】 別紙4-1のとおり。		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙4-1のとおり。		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 2024 年度）実績】 別紙4-2のとおり。		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙4-2のとおり。		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度(2024 年度) 実績】 別紙5-1のとおり。		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙5-1のとおり。		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度(2024 年度) 実績】 別紙6-1のとおり。		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

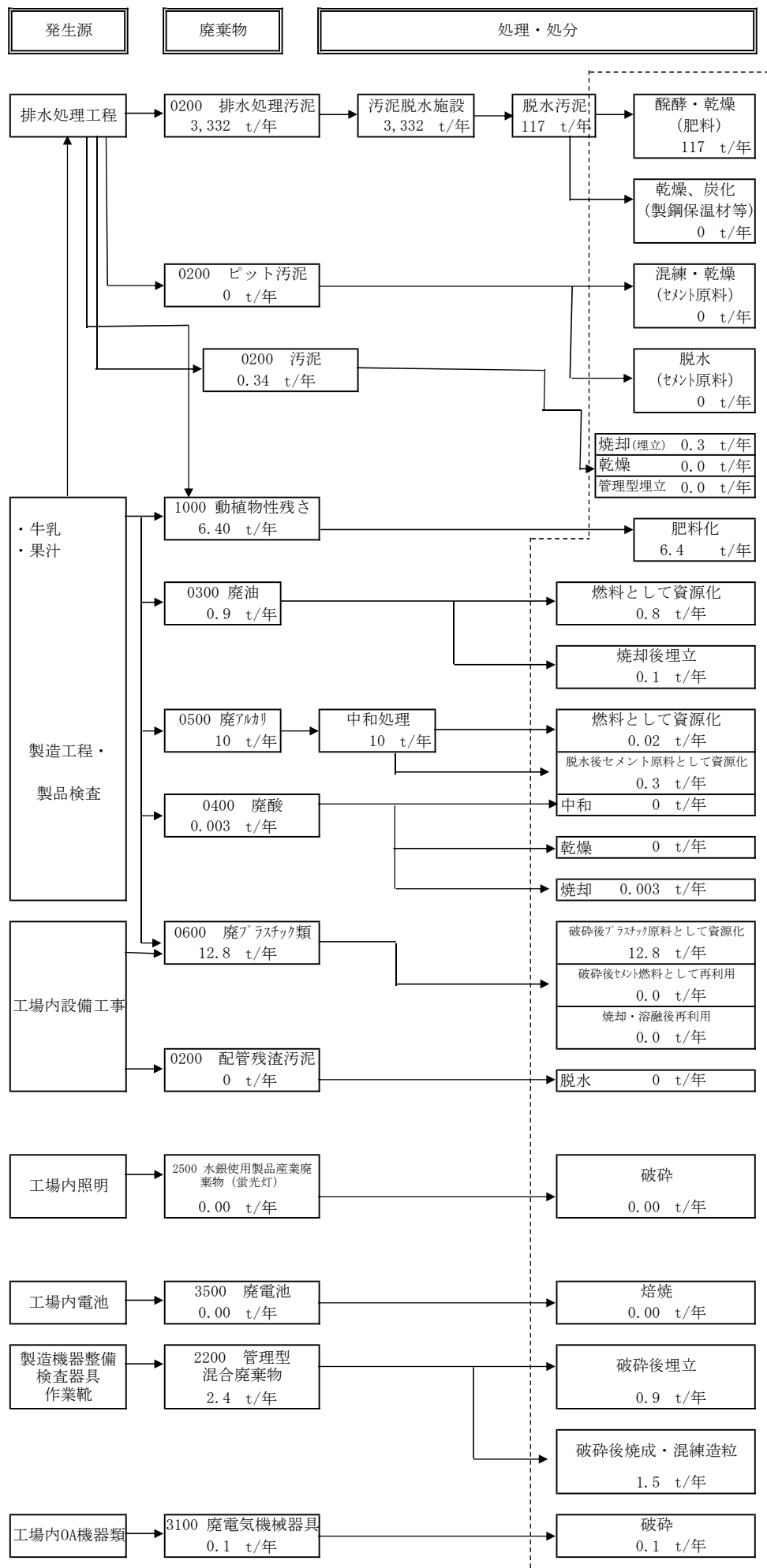
(第5面)

②計画	【目標】 別紙6-1のとおり。		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工率高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「－」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1 産業廃棄物の一連の処理工程

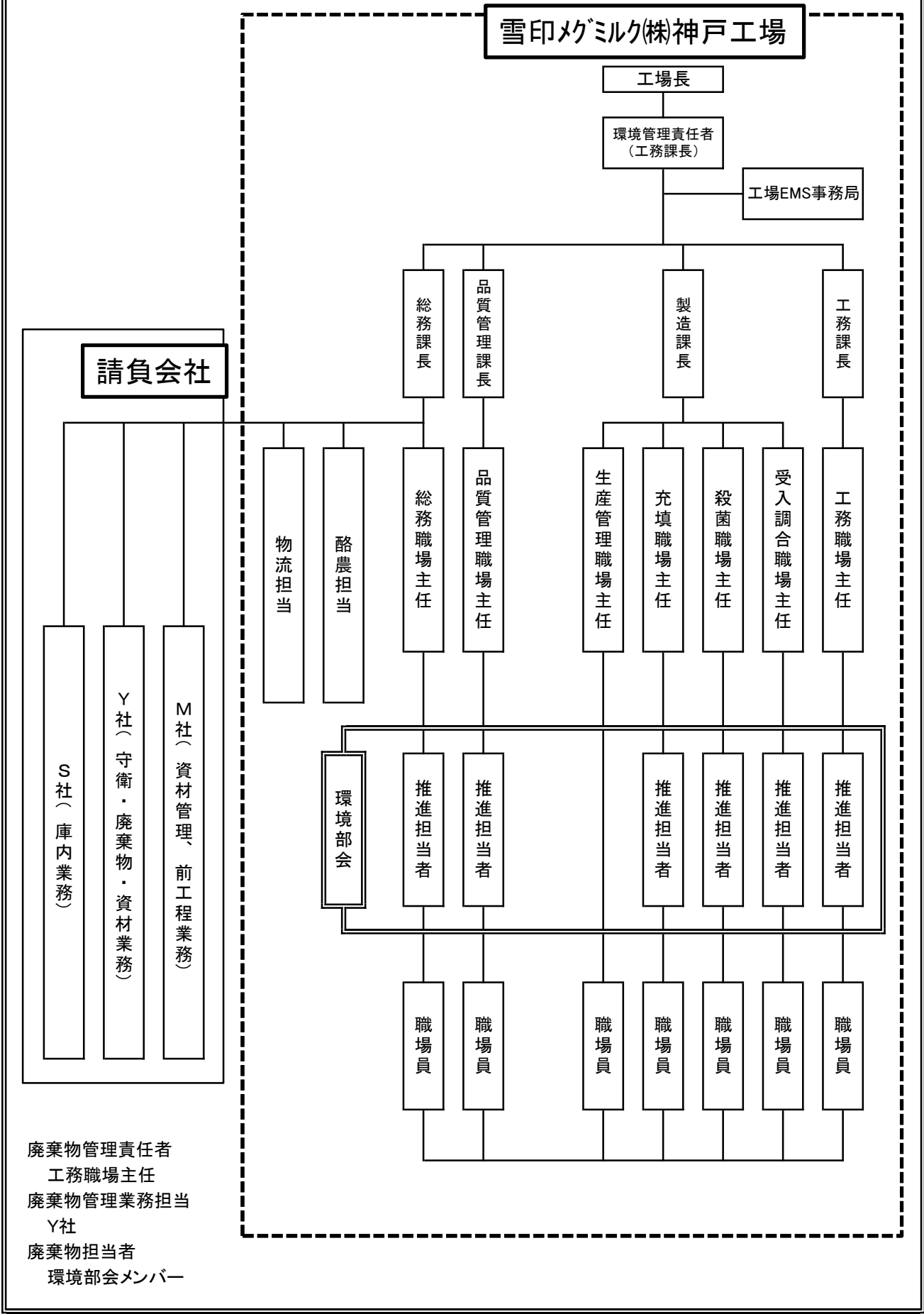


→ 廃棄物の流れ

委託処理部分の範囲

※数値：2024年度の実績値。

別紙2 産業廃棄物の処理に係る管理体制図



別紙3

1. 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項
〈具体的取組〉

廃棄物の種類	発生量実績 (t/年) 2024年度	発生量計画 (t/年) 2025年度	排出抑制量 (t/年)	具体的取組
0200 排水処理汚泥	3,332	3,299	33	・原水流入負荷削減取組 による余剰汚泥量を抑制
1000 動植物性残さ	6.4	6.4	0	—
0300 廃油	0.9	0.9	0	—
1300 ガラスくず	0	0	0	—
1200 金属くず	0	0	0	—
0500 廃アルカリ	10	10	0	—
0600 廃プラスチック類	13	13	0	—
0400 廃酸	0.003	0.003	0	—
0200 ピット汚泥	0	0	0	—
0200 配管残渣汚泥	0	0	0	—
0200 汚泥（廃試薬・製品廃棄・原料廃棄・土砂）	0.3	0.3	0	—
2500 水銀使用製品産業廃棄物（蛍光灯）	0	0	0	—
3500 廃電池	0	0	0	—
2200 管理型混合廃棄物 （廃プラ・木屑・紙屑・金属屑・ガラス屑）	2	2	0	—
3100 廃電気機械器具	0.1	0.1	0	—

2. 産業廃棄物の分別に関する事項
〈具体的取組〉

・工程毎に発生したものをそれぞれ保管する。

0200 排水処理汚泥	・排水処理脱水工程より発生する。 ・脱水処理後の含水率は85%以下となる。
1000 動植物性残さ	・排水処理原水入口で採取された乳固形類を主とした残さ物。
0300 廃油	・製造機器・ユーティリティ機器の整備に於ける更油・洗い油、 製品検査の試薬廃棄により発生する。不純物含む。
1300 ガラスくず	・瓶牛乳製造工程の洗瓶機、充填機、原料容器により発生する。 ・色分け、種類分けにより分別している。
1200 金属くず	・原材料容器の空缶、ドラム缶、ガロン缶。 ・製造機器、ユーティリティ機器の整備により発生するアルミ・ステンレス・鉄屑等。
0500 廃アルカリ	・製造工程の洗浄施設から生じたアルカリ洗剤
0600 廃プラスチック類	・製品、原材料容器、包装容器資材として発生する。 ・製造機器、ユーティリティ機器の整備に於ける改修工事により発生する。
0400 廃酸	・販売店、冷蔵倉庫からの戻り乳、生産工程からの抜き取り、 製品廃棄、製品検査の試薬廃棄により発生する。
0200 ピット汚泥	・排水処理槽内の清掃及び配管の浚渫時に発生する。
0200 配管汚泥	・埋設配管の浚渫時に発生する。
0200 汚泥 （廃試薬・製品廃棄・原料廃棄・土砂）	・原料廃棄、製品廃棄、製品検査の試薬廃棄により発生する。 ・工場より雨水等放流する出口に堆積した土砂。
2500 水銀使用製品産業廃棄物	・工場内の蛍光灯交換時に発生する。
3500 廃電池	・工場内機器の電池交換時に発生する。
2200 管理型混合廃棄物 （廃プラ・木屑・紙屑・金属屑・ガラス屑）	・製造機器整備、検査器具、作業靴、ヘルメット廃棄時に発生する。
3100 廃電気機械器具	・工場内OA機器類の更新時に発生する。

別紙4

1. 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項
＜具体的取組＞

廃棄物の種類	再生利用実績 (t/年) 2024年度	再生利用量計画 (t/年) 2025年度	再生利用量の増加 (t/年)	具体的取組
0200 排水処理汚泥	0	0	0	－
1000 動植物性残さ	0	0	0	－
0300 廃油	0	0	0	－
1300 ガラスくず	0	0	0	－
1200 金属くず	0	0	0	－
0500 廃アルカリ	0	0	0	－
0600 廃プラスチック類	0	0	0	－
0400 廃酸	0	0	0	－
0200 ピット汚泥	0	0	0	－
0200 配管残渣汚泥	0	0	0	－
0200 汚泥（廃試薬・製品廃棄・原料廃棄・土砂）	0	0	0	－
2500 水銀使用製品産業廃棄物（蛍光灯）	0	0	0	－
3500 廃電池	0	0	0	－
2200 管理型混合廃棄物 （廃プラ・木屑・紙屑・金属屑・ガラス屑）	0	0	0	－
3100 廃電気機械器具	0	0	0	－

2. 産業廃棄物の中間処理に関する事項
＜具体的取組＞

廃棄物の種類	中間処理による減量化実績 (t/年) 2024年度	中間処理による減量化計画 (t/年) 2025年度	中間処理による減量分の増加分 (t/年)	具体的取組
0200 排水処理汚泥	3, 215	3, 180	-35	・汚泥発生量削減への推進
1000 動植物性残さ	－	－	－	－
0300 廃油	－	－	－	－
1300 ガラスくず	－	－	－	－
1200 金属くず	－	－	－	－
0500 廃アルカリ	0	0	0	－
0600 廃プラスチック類	－	－	－	－
0400 廃酸	0	0	0	－
0200 ピット汚泥	－	－	－	－
0200 配管残渣汚泥	－	－	－	－
0200 汚泥（廃試薬・製品廃棄・原料廃棄・土砂）	－	－	－	－
2500 水銀使用製品産業廃棄物（蛍光灯）	－	－	－	－
3500 廃電池	－	－	－	－
2200 管理型混合廃棄物 （廃プラ・木屑・紙屑・金属屑・ガラス屑）	－	－	－	－
3100 廃電気機械器具	－	－	－	－

別紙5

1. 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項
〈具体的取組〉

廃棄物の種類	埋立・海洋投入処分実績 (t/年) 2024年度	埋立・海洋投入処分計画 (t/年) 2025年度	処分量の減量 (t/年)	具体的取組
0200 排水処理汚泥	0	0	0	—
1000 動植物性残さ	—	—	—	—
0300 廃油	—	—	—	—
1300 ガラスくず	—	—	—	—
1200 金属くず	—	—	—	—
0500 廃アルカリ	0	0	0	—
0600 廃プラスチック類	—	—	—	—
0400 廃酸	0	0	0	—
0200 ビット汚泥	—	—	—	—
0200 配管残渣汚泥	—	—	—	—
0200 汚泥（廃試薬・製品廃棄・原料廃棄・土	—	—	—	—
2500 水銀使用製品産業廃棄物（蛍光灯）	—	—	—	—
3500 廃電池	—	—	—	—
2200 管理型混合廃棄物 （廃プラ・木屑・紙屑・金属屑・ガラス屑）	—	—	—	—
3100 廃電気機械器具	—	—	—	—

別紙6

1. 産業廃棄物の処理の委託に関する事項
＜具体的取組＞

廃棄物の種類	委託処理量実績 (t/年) 2024年度		委託処理量計画 (t/年) 2025年度		委託処理量の減量 (t/年)		具体的取組
0200 排水処理汚泥		117		116		1	・汚泥発生量削減への推進
	(優良認定処理業者への処理委託量)	117	(優良認定処理業者への処理委託量)	116	(優良認定処理業者への処理委託量)	1	
	(再生利用業者への処理委託量)	117	(再生利用業者への処理委託量)	116	(再生利用業者への処理委託量)	1	
1000 動植物性残さ		6.4		6.4		0.0	—
	(優良認定処理業者への処理委託量)	6.4	(優良認定処理業者への処理委託量)	6.4	(優良認定処理業者への処理委託量)	0.0	
	(再生利用業者への処理委託量)	6.4	(再生利用業者への処理委託量)	6.4	(再生利用業者への処理委託量)	0.0	
0300 廃油		0.9		0.9		0.0	—
	(優良認定処理業者への処理委託量)	0.3	(優良認定処理業者への処理委託量)	0.3	(優良認定処理業者への処理委託量)	0	
	(再生利用業者への処理委託量)	0.9	(再生利用業者への処理委託量)	0.9	(再生利用業者への処理委託量)	0.0	
1300 ガラスくず		0		0		0	—
	(優良認定処理業者への処理委託量)	0	(優良認定処理業者への処理委託量)	0	(優良認定処理業者への処理委託量)	0	
	(再生利用業者への処理委託量)	0	(再生利用業者への処理委託量)	0	(再生利用業者への処理委託量)	0	
1200 金属くず		0		0		0	—
	(優良認定処理業者への処理委託量)	0	(優良認定処理業者への処理委託量)	0	(優良認定処理業者への処理委託量)	0	
	(再生利用業者への処理委託量)	0	(再生利用業者への処理委託量)	0	(再生利用業者への処理委託量)	0	
0500 廃アルカリ		10		10		0	—
	(優良認定処理業者への処理委託量)	10	(優良認定処理業者への処理委託量)	10	(優良認定処理業者への処理委託量)	0	
	(再生利用業者への処理委託量)	10	(再生利用業者への処理委託量)	10	(再生利用業者への処理委託量)	0	
0600 廃プラスチック類		13		13		0	—
	(優良認定処理業者への処理委託量)	13	(優良認定処理業者への処理委託量)	13	(優良認定処理業者への処理委託量)	0	
	(再生利用業者への処理委託量)	13	(再生利用業者への処理委託量)	13	(再生利用業者への処理委託量)	0	
0400 廃酸		0.003		0.003		0	—
	(優良認定処理業者への処理委託量)	0.003	(優良認定処理業者への処理委託量)	0.003	(優良認定処理業者への処理委託量)	0	
	(再生利用業者への処理委託量)	0.003	(再生利用業者への処理委託量)	0.003	(再生利用業者への処理委託量)	0	
0200 ビット汚泥		0		0		0	—
	(優良認定処理業者への処理委託量)	0	(優良認定処理業者への処理委託量)	0	(優良認定処理業者への処理委託量)	0	
	(再生利用業者への処理委託量)	0	(再生利用業者への処理委託量)	0	(再生利用業者への処理委託量)	0	
0200 配管残渣汚泥		0		0		0	—
	(優良認定処理業者への処理委託量)	0	(優良認定処理業者への処理委託量)	0	(優良認定処理業者への処理委託量)	0	
	(再生利用業者への処理委託量)	0	(再生利用業者への処理委託量)	0	(再生利用業者への処理委託量)	0	
0200 汚泥（廃試薬・製品廃棄・原料廃棄）		0.3		0.3		0	—
	(優良認定処理業者への処理委託量)	0.3	(優良認定処理業者への処理委託量)	0.3	(優良認定処理業者への処理委託量)	0	
	(再生利用業者への処理委託量)	0.3	(再生利用業者への処理委託量)	0.3	(再生利用業者への処理委託量)	0	
2500 水銀使用製品産業廃棄物（蛍光灯）		0		0		0	—
	(優良認定処理業者への処理委託量)	0	(優良認定処理業者への処理委託量)	0	(優良認定処理業者への処理委託量)	0	
	(再生利用業者への処理委託量)	0	(再生利用業者への処理委託量)	0	(再生利用業者への処理委託量)	0	
3500 廃電池		0		0		0	—
	(優良認定処理業者への処理委託量)	0	(優良認定処理業者への処理委託量)	0	(優良認定処理業者への処理委託量)	0	
	(再生利用業者への処理委託量)	0	(再生利用業者への処理委託量)	0	(再生利用業者への処理委託量)	0	
2200 管理型混合廃棄物（廃ブラ・木屑・紙屑・金属屑・ガラス屑）		2		2		0	—
	(優良認定処理業者への処理委託量)	2	(優良認定処理業者への処理委託量)	2	(優良認定処理業者への処理委託量)	0	
	(再生利用業者への処理委託量)	2	(再生利用業者への処理委託量)	2	(再生利用業者への処理委託量)	0	
3100 廃電気機械器具		0.1		0.1		0	—
	(優良認定処理業者への処理委託量)	0.1	(優良認定処理業者への処理委託量)	0.1	(優良認定処理業者への処理委託量)	0	
	(再生利用業者への処理委託量)	0.1	(再生利用業者への処理委託量)	0.1	(再生利用業者への処理委託量)	0	